



TITLE:

結核研究所年報(第 14 号・昭和 37 年度)

AUTHOR(S):

CITATION:

結核研究所年報(第 14 号・昭和 37 年度). 京都大學結核研究所紀要
1963, 11(2)

ISSUE DATE:

1963-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/51897>

RIGHT:

京 都 大 学

結 核 研 究 所 年 報

第 1 4 号

昭 和 3 7 年 度

1 9 6 3 年 3 月

京 都 大 学 結 核 研 究 所

京 都 大 学

結 核 研 究 所 年 報

第 14 号

昭 和 37 年 度

1963 年 3 月

京都大学結核研究所職員及準職員

所 長	教 授	内 藤 益 一	(京都大学結核研究所第3部化学療法部)
協議員	教 授	堀 井 五十雄	(京都大学医学部長, 解剖学教室)
	“ 教 授	三 宅 儀	(京都大学医学部附属病院長, 内科学教室第2講座)
	“ 教 授	近 藤 鋭 矢	(京都大学医学部整形外科学教室)
	“ 教 授	荒 木 千 里	(京都大学医学部外科学教室第1講座)
	“ 教 授	植 田 三 郎	(京都大学結核研究所第7部細菌血清学部)
	“ 教 授	前 川 孫 二 郎	(京都大学医学部内科学教室第3講座)
	“ 教 授	後 藤 光 治	(京都大学医学部耳鼻咽喉科学教室)
	“ 教 授	鈴 江 懷	(京都大学医学部病理学教室第1講座)
	“ 教 授	美濃口 玄	(京都大学医学部口腔外科学教室)
	“ 教 授	浅 山 亮 二	(京都大学医学部眼科学教室)
	“ 教 授	稲 田 務	(京都大学医学部泌尿器科学教室)
	“ 教 授	福 田 正	(京都大学医学部放射線医学教室)
	“ 教 授	掛 見 喜 一 郎	(京都大学医学部附属病院薬剤部長, 薬学部薬学科教室)
	“ 教 授	永 井 秀 夫	(京都大学医学部小児科学教室)
	“ 教 授	長 石 忠 三	(京都大学結核研究所第4部外科療法部)
	“ 教 授	村 上 仁	(京都大学医学部精神科学教室)
	“ 教 授	稲 本 晃	(京都大学医学部麻醉学教室)
	“ 教 授	辻 周 介	(京都大学結核研究所第2部理学的診療学部)
	“ 教 授	脇 坂 行 一	(京都大学医学部内科学教室第1講座)
	“ 教 授	高 松 英 雄	(京都大学結核研究所第6部病理学部)
	“ 教 授	西 村 敏 雄	(京都大学医学部婦人科学教室)
	“ 教 授	太 藤 重 夫	(京都大学医学部皮膚病学黴毒学教室)
	“ 教 授	木 村 忠 司	(京都大学医学部外科学教室第2講座)

(第1部：小兒特異性研究部)

主任 教授(兼)：内藤益一 助教授：小林裕 助手：(休)寺村文男・福田潤 副手：福井齊・立石恭子

(第2部：理学的診療学部)

主任 教授：辻周介 助教授：安平公夫 講師(非常勤)：西岡諄 助手：小原幸信・藤田豊 副手：小松幹雄・上田千里・市田新路・田中久勝・浜本武夫・福岡謙助

(第3部：化学療法部)

主任 教授：内藤益一 助教授：前川暢夫 講師(非常勤)：大井豊 助手：吉田敏郎・津久間俊次

副手：中西通泰・松島留蔵・川合満・清水明・井本伍平・東向一郎・小沢兄 介補：蒲田迪子・柴田朝緒

(第4部：外科療法部)

主任 教授：長石忠三 助教授：寺松孝 講師：佐川弥之助 講師(非常勤)：吉田昇・長沢直幸・日下芳郎・依田篤信・(兼)渡辺熙 助手：岡田慶夫 副手：加藤幹夫・山崎昇・木下修二郎・大道重夫・立石昭三・久野健志・永井彰・岩田明・土肥佳郎・田中歳郎・池田貞雄・船津武志・人見滋樹・山本博昭・伊東政敏・甲斐隆義・北野司久・浅井信明・菅原精博

(第5部：病態生理学部)

主任 教授(兼)：辻周介 助教授：大島駿作 講師(非常勤)：渡辺熙・並河靖・日置辰一朗 助手：(休)川田典徳・岡田長保 副手：熊代朗子・浅田高明・小林辰雄・儀間義威 技官：木津啓

(第6部：病理学部)

主任 教授：高松英雄 講師：水谷昭 講師(非常勤)：峰下鉄雄 助手：大川欣一 副手：進藤備昌・富永敏郎・北村彬・溝口喜久雄・竹沢正和・永井隆男・岡田彰・伊藤満・池谷淳一 介補：熊沢清・池田嵩 技官：大槻実

(第7部：細菌血清学部)

主任 教授：植田三郎 助教授：上坂一郎 助手：白石正雄・大岩弘治 副手：伊藤義昭・土井和雄・大平実・神田桂子 技官：山岸悦子・山田愼一 客員教授：N・M・マックラング

(併任)

教授 近 藤 鋭 矢 (京都大学医学部整形外科学教室)
 “ 永 井 秀 夫 (京都大学医学部小児科学教室)
 “ 福 田 正 (京都大学医学部放射線医学教室)

(事務部)

事務長：千種顕誠 庶務掛長：尾上代蔵 同事務官：木村斐夫・小林和雄・堀田良恵 経理掛長：西村利雄 同主任：松本正 同事務官：近藤英子・佐竹貞雄 収入掛長：北川治康 同主任：中村睦太郎 同事務官：前田久男・中嶋婦ミ・白井キヌ・上地稔子・野田芳子・村上登美枝 患者掛長：鈴庄清二 同主任：中村彦次郎 同事務官：室恵美子

(診療部)

薬剤主任：小野木賢治 同事務官：宇野初枝 同技官：壺見浩子・八木充子 レントゲン室主任：浜川純一 同技官：蔵岡信良・大坂泰夫 総婦長：清水スエヲ 看護婦長：細川ミツエ・安井八重子・中根文子 主任看護婦：信重安子・西川澄子・大前久野 同技官：古府静江・岩永千代子・高市政子・北村トミ子・安部克己・近藤信子・馬場トキエ・山崎保子・田中松代子・松田比佐子・谷村明子・松本敏枝・星野好江・森田美代子・小林とよ・小林梅野・松室美代子・藤井千鶴子・竹崎浄子・植垣比沙子

業 績 目 録

第 1 部 小 児 特 異 性 研 究 部

〔学会発表並びに講演〕

- 1) 小林裕：非定型抗酸菌の感染について，第10回京都市学校保健学会 (37.3.13)
- 2) 小林裕他：本邦における非定型抗酸菌感染の疫学的研究 (第3報)，第37回日本結核病学会総会 (37.4.9)
- 3) 小林裕，寺村文男，立石恭子，三河春樹，赤石強司，福田潤，横山達郎：BCG 接種後のツベルクリン反応に及ぼすツベルクリン反復注射の影響について(Ⅱ)，同上 (37.4.11)

- 4) 小林裕, 寺村文男, 立石恭子, 三河春樹, 赤石強司, 福田潤, 横山達郎: ツベルクリン反応自然陽転児の経過追求成績, 第65回日本小児科学会総会 (37.4.22)
- 5) 小林裕: 近年における小児ツベルクリン反応発現様相の変貌について, 第25回日本結核病学会近畿地方会, 特別講演 (37.6.18)
- 6) 小林裕, 福田潤, 立石恭子: BCG接種後のツベルクリン反応の動揺について, 第241回日本小児科学会京都地方会 (37.9.19)
- 7) 小林裕: ツベルクリン反応自然陽転学童と化学予防, 京都大学結核研究所昭和37年度学術講演会 (38.1.21)

〔雑誌発表〕

- 1) 小林裕, 寺村文男, 立石恭子: 学童における副鼻腔気管支炎に関する調査, 京都大学結核研究所紀要, 11(1), 26, 昭37
- 2) 小林裕, 寺村文男, 福田潤, 立石恭子, 三河春樹, 赤石強司, 横山達郎: BCG既接種者からの自然陽転選出基準について, 京都大学結核研究所紀要, 11(1); 62, 昭37
- 3) Y. Kobayashi, F. Teramura, K. Tateishi, H. Mikawa, K. Akaishi, H. Fukuda and T. Yokoyama: Studies on the Change of Tuberculin Reaction Repeatedly Tested at the Same Site of the Skin of a BCG Vaccinated Group of School Children, III. Results Obtained 18, 24 and 30 Months after BCG Vaccination., Acta Tub. Jap., 12(1); 19, 1962.
- 4) 小林裕: 小児呼吸器X線診断(Ⅳ)非結核性疾患(その1), 小児科, 3(2); 115, 1962
- 5) 小林裕: 小児呼吸器X線診断(Ⅴ)非結核性疾患(その2), 小児科, 3(3); 185, 1962
- 6) 小林裕, 他: 日本における非定型抗酸菌感染の疫学的研究, 日本医事新報, 2007号, 昭37, 10

第 2 部 理 学 的 診 療 学 部

〔学会発表並びに講演〕

- 1) 辻周介, 大島駿作, 浅田高明, 泉孝英: 結核に対する生体の防衛力に関する研究—細胞性抗結核菌性物質の検索, 第37回日本結核病学会総会 (昭37.4)
- 2) 小松幹雄, 上坂一郎, 大岩弘治: 培養不能の真菌による膿胸の1例, 同上
- 3) 辻周介, 大島駿作, 泉孝英, 大城盛夫: 細胞性抗結核菌物質に関する研究, 第8回結核化学研究グループ総会 (昭37.4)
- 4) 山本寿, 辻周介, 大城盛夫, 泉孝英: 巨大ブレブの1治験例について, 第25回日本結核病学会近畿地方会 (昭37.6)
- 5) 辻周介, 永野琴子, 小原幸信: 横隔膜穿孔を伴った肝副葉の1症例, 同上
- 6) 永野琴子, 大城盛夫, 泉孝英: 特発性気胸75例の成因に関する観察, 同上
- 7) 辻周介, 大島駿作, 大城盛夫: ウサギ肺胞滲出細胞抽出液によるツベルクリン・アレルギーの受身伝達について, 第12回日本アレルギー学会総会 (昭37.10)
- 8) 辻周介, 大島駿作, 泉孝英: 結核免疫の研究(続報)大島 Myrvik の肺臓反応に関する研究, 同上。
- 9) 浜本武夫, 笹瀬博次, 田村政司, 小原幸信, 永野琴子: 小鬼気管支拡張症についての考察, 第17回国立病院療養所総合医学会 (昭37.10)
- 10) 笹瀬博次, 清瀬嘉治, 小原幸信: 結核療養所におけるインフルエンザ A₂ 型の流行, 同上
- 11) 永野琴子, 山本辰芳, 東日出夫, 森田憲二: 国療2施設給食実態調査を中心にしての2, 3の考察, 同上。
- 12) 辻周介: 肺癌について, 峯山町医師会講演会 (昭37.10)
- 13) 大島駿作, 藤田豊, 岡田長保, 渡辺熙, 桑田蕃: 健康人尿中の抗結核菌性物質に関する研究, 第35回日本生化学会総会 (昭37.11)
- 14) 辻周介: 非結核性肺疾患の種々相, 京都府医師会講演会 (昭37.11)

- 15) 辻周介：肺癌レ線写真供覧，結核管理研究会（昭37.11）
- 16) 辻周介，大島駿作，大城盛夫，泉孝英：家兎肺胞内単核細胞抽出液によるツベルクリン感受性の受身伝達実験，第26回日本結核病学会近畿地方会（昭37.12）
- 17) 氷室一郎，可知守孝，小松幹雄，牧文彦，松島留蔵：原発性肺線維肉種の1例，同上
- 18) 辻周介：結核防御免疫に関する考察，第1回ウイルス研病理部免疫ゼミナール（昭38.1）

〔 雑 誌 発 表 〕

- 1) 大城盛夫，永野琴子，泉孝英：自発性気胸の臨床統計特にその成因について，京結紀要，11：22，（昭37）
- 2) 辻周介，小原幸信，永野琴子：横隔膜穿孔を伴う肝副葉の1例，京結紀要，11：55，（昭37）
- 3) 笹瀬博次，小原幸信，永野琴子：小児結核病棟に於ける「インフルエンザ」B型の流行，医療，16：159，（昭37）
- 4) Mikio Komatsu: Studies on the Combined Chemotherapy of Streptomycin and Isonicotinic Acid Hydrazide, Acta Tuberc. Jap., 11: 83, 1962.
- 5) Hisakatsu Tanaka: Study on Tuberculostatic Activities of Body Fluids of Rabbits given Triton WR 1339 with Special Reference to the Role of Lipemia, Acta Tuberc. Jap., 12:28, 1962.
- 6) Kimio Yasuhira: An Approach to the pathology of Tuberculosis by Experiments Using Fraction Isolated from the Tubercle Bacillus, Acta Path. 10: 419, 1960.
- 7) Kimio Yasuhira und Yukinobu Kobara: Untersuchungen über die "gefüllte Kaverne", Z. Tbk., 118: 241, 1962.
- 8) Morio Oshiro, Kyoto Nagano and Takateru Izumi: Clinical Statistics on 75 Cases of Spontaneous Pneumothorax with Special Reference to the Disease, Jap. J. Tbk., 10:25, 1962.

第 3 部 化 学 療 法 部

〔学会発表並びに講演〕

- 1) 内藤益一，前川暢夫，吉田敏郎，津久間俊次，川合満，古沢春二，岡武雄，中村彰：薬剤耐性肺結核防止のための初回化学療法の強化，第37回日本結核病学会総会（昭37.4.11）
- 2) 内藤益一，津久間俊次，川合満，中井準，久世文幸，岡武雄，時光直樹，中村彰：結核化学療法施行前の喀痰中結核菌耐性検査成績について，同上（昭37.4.11）
- 3) 内藤益一，津久間俊次，吉原宣方：現行結核菌耐性検査法の吟味，同上（昭37.4.11）
- 4) 内藤益一，吉田敏郎，清水明，小沢晃：新しい注射用 PAS としての PAS-Glucoside，第10回日本化学療法学会総会（昭37.6.9）
- 5) 内藤益一，前川暢夫，吉田敏郎，津久間俊次，川合満，清水明，久世文幸，田中健一：o-Aminophenol methansulfonate (MAP) に関する基礎実験，同上（昭37.6.9）
- 6) 内藤益一，前川暢夫，吉田敏郎，津久間俊次，川合満，吉原宣方，中井準，池田宣昭，久世文幸，小沢晃，田中健一，蒲田迪子：再治療難治肺結核に対する o-Aminophenol methansulfonate (MAP) の効果，同上（昭37.6.9）
- 7) 内藤益一，津久間俊次，吉原宣方：現行結核菌耐性検査法の吟味（第3報）第25回日本結核病学会近畿地方会（昭37.6.18）
- 8) 内藤益一，前川暢夫，吉田敏郎，津久間俊次，川合満，吉原宣方，中井準，池田宣昭，久世文幸，小沢晃，田中健一，蒲田迪子：再治療難治肺結核に対する o-Aminophenol methansulfonate (SOM) の効果，同上（昭37.6.18）
- 9) 内藤益一，津久間俊次，久世文幸，田中健一：シリコンスライド培養法における接種菌量と諸種抗結核剤の結核菌発育阻止最低濃度との関係について，同上（昭37.6.18）

- 10) 池田宣昭, 津久間俊次: 結核化学療法に於ける薬剤の毎日投与と間歇投与法との比較に関する実験的研究 第2回日本胸部疾患学会総会 (昭37.11.1)
- 11) 中井準, 津久間俊次: 薬剤交互併用療法の基礎的研究, 同上 (昭37.11.1)
- 12) 内藤益一, 津久間俊次, 他: 結核菌に対する化学療法剤の研究, 第17報 Phenylthiourea 誘導体の合成並びに抗菌作用について, 日本薬学会総会 (昭37.11.3)
- 13) 内藤益一, 津久間俊次, 他: 結核菌に対する化学療法剤の研究, 第18報 2-Thenylideneacetone 誘導体の合成並びに抗菌作用について, 日本薬学会総会 (昭37.11.23)
- 14) 内藤益一, 前川暢夫, 吉田敏郎, 津久間俊次, 川合満, 清水明, 小沢晃: PAS-Glucoside 点滴静注について, 第10回日本化学療法学会中日本支部総会 (昭37.11.24)
- 15) 内藤益一, 津久間俊次, 中井準, 池田宣昭, 田中健一, 蒲田廸子, 他: 結核菌に対する Thiourea 誘導体の静菌作用, 第26回日本結核病学会近畿地方会 (昭37.12.15)
- 16) 内藤益一, 前川暢夫, 津久間俊次, 川合満, 中井準, 久世文幸, 田中健一: o-Aminophenol methansulfon 酸ソーダ (SOM) の基礎的研究補遺, 同上 (昭37.12.15)
- 17) 内藤益一, 前川暢夫, 吉田敏郎, 中西通泰, 川合満, 池田宣昭, 中井準, 久世文幸, 田中健一: o-Aminophenol methansulfon 酸ソーダ (SOM) の臨床的応用, 同上 (昭37.12.15)

〔誌 上 発 表〕

- 1) 中西通泰, 川合満, 清水明, 池田宣昭, 吉原宣方, 中井準, 久世文幸: 切除肺病単内結核菌の細菌学的研究, 京大結研紀要, 10巻, 1号 (昭36.9)
- 2) Koichiro Higashi, Shunji Tsukuma, Masukazu Naito: Silicone-Coated Slide Culture Method for Tubercle Bacilli, The American Review of Respiratory Diseases, Vol. 85, No. 3 (1962, 3)
- 3) 内藤益一: 耐性肺結核防止のための初回強力化学療法, 京大結研紀要, 10巻, 2号 (昭37.3)
- 4) Masukazu Naito, Nobuo Maekawa, Rinzo Watanabe, Hideo Kawai: Correspondence: Re-Treatment of Serious Pulmonary Tuberculosis with TB1 and Tetracycline, Acta Tuberculosea Japonica, Vol. 11, No. 2. (1962, 3)
- 5) 内藤益一: 肺結核の初回化学療法における強力併用法の提唱, 日本胸部臨牀, 21巻, 5号 (昭37.5)
- 6) 前川暢夫, 小沢晃, 河崎弘: Mallogen W に関する経験, 胸部疾患, 6巻, 5号 (昭37.5)
- 7) 前川暢夫: 胸部陰影, 日本臨牀, 20巻, 5号 (昭37.5)
- 8) 内藤益一, 前川暢夫, 吉田敏郎, 津久間俊次, 中西通泰, 清水明, 川合満, 中井準, 池田宣昭, 吉原宣方, 久世文幸, 田中健一, 小沢晃, 蒲田廸子, 柴田朝緒, 他: 結核化学療法施行前の喀痰中結核菌の耐性検査成績について, (第2報), 京大結研紀要, 11巻, 1号 (昭37.9)
- 9) Masukazu Naito, Nobuo Maekawa, Shunji Tsukuma, Toshinobu Kawata, Yoshiharu, Kunieda, Toshiro Tsunemura, Mitsuru Kawai: Combined Chemotherapy of Tuberculosis with Kanamycin and Cycloserine, Acta Tuberculosea Japonica, Vol. 12, No. 1 (1962, 9)
- 10) 吉原宣方: 現行耐性検査法に就いての吟味 (第1篇), 京大結研紀要, 11巻, 1号 (昭37.9)
- 11) 清水明: 持続性サルファ剤の抗結核作用特に INH との併用効果 (第1～第2編), 京大結研紀要, 11巻, 1号 (昭37.9)
- 12) 前川暢夫, 中西通泰: 「シーダー」の使用経験, 胸部疾患, 6巻, 12号 (昭37.12)
- 13) 内藤益一, 津久間俊次, 他: 結核菌に対する化学療法剤の研究 (第14報) 2-Thiophencarboxyaldehyde 誘導体の合成並びに抗菌作用について, 薬学雑誌, 82巻, 12号, 1681～1684 (昭37.12)
- 14) 内藤益一, 前川暢夫, 寺松孝, 吉田敏郎, 中西通泰: 肺腫瘍の正診例と誤診例, 日本臨牀, 21巻, 1号 (昭38.1)
- 15) 内藤益一: PAS-Glucoside-Na の点滴静注, 日本胸部臨牀, 22巻, 1号 (昭38.1)
- 16) 前川暢夫, 小沢晃, 河崎弘: 結核化学療法施行症例に対するイリコロンM錠投与の経験, 胸部疾患, 7巻, 2号 (昭38.2)

第 4 部 外 科 療 法 部

〔特別講演又はシンポジウム〕

- 1) 長石忠三：老人の肺結核，第20回中信医学会特別講演（36.6.25）
- 2) 寺松孝：化学療法併用下に於ける肺結核刺戟療法の再検討，第37回日本結核病学会総会特別講演（37.4.10）
- 3) 佐川弥之助：肺結核における肺機能低下に関する諸問題—外科方面，同上シンポジウム（37.4.9）
- 4) C. Nagaishi: Die Kavernostomie mit Film (Symposium: Die Lokale Kavernenbehandlung), Kongress d. Deutschen Tuberkulose Gesellschaft, Düsseldorf, Deutschland (Okt. 8-13, 1962)
- 5) 寺松孝：肺外科の現状と問題点（肺結核），第15回日本胸部外科学会特別講演（37.10.30）
- 6) 加藤幹夫：肺不全とその対策—換気障害とその対策（外科方面から），第2回日本胸部疾患学会シンポジウム（37.11.1）
- 7) C. Nagaishi: Die Tuberkulose in Japan, Kongress d. Deutschen Tuberkulose Gesellschaft, Düsseldorf, Deutschland (Okt. 6, 1962)
- 8) C. Nagaishi: Die Kavernostomie, Rheinische Landeslinik, Marienheide, Deutschland (Okt. 6, 1962)
- 9) C. Nagaishi: Die Kavernostomie mit Film, Chirurgische Universitätsklinik, Giessen, Deutschland (Okt. 15, 1962)
- 10) C. Naganishi: Therapeutische Massnahmen zur Behandlung der respiratorischen Insuffizienz in der Lungenchirurgie, Schwarzwald-sanatorium, Schömburg, Deutschland (Okt. 19, 1962)
- 11) C. Nagaishi: The Cavernostomy for Far-advanced Pulmonary Tuberculosis, Dell Università Di Roma, Centro Studi Carlo Forlanini, Roma, Italy (Oct. 23, 1962)
- 12) C. Nagaishi: Elektronmicroscopische Bilder von gesunden und kranken Lungen, Sanatorium Wolfgang, Davos, Switzerland (Okt. 27, 1962)
- 13) C. Nagaishi: Elektronmicroscopische Bilder von gesunden und kranken Lungen, Chirurgische Universitäts Klinik, Burgerspital, Basel, Switzerland (Okt. 31, 1962)
- 14) C. Nagaishi: No.1 Die Tuberkulose in Japan, No.2 Die Kavernostomie, Budapest Medical Association, Budapest, Hungary (Nov. 6, 1962)
- 15) C. Nagaishi: La Speleostomie, Service de pneumologie, Hospital Foch, Seine, Paris, France (Nov. 13, 1962)
- 16) C. Nagaishi: The Cavernostomy with Film, Barcelona Medical Association, Barcelona, Spain (Nov. 16, 1962)
- 17) C. Nagaishi: The Cavernostomy with Film, Department of surgery, Madrid University, Madrid, Spain (Nov. 19, 1962)
- 18) 加藤幹夫：肺胞換気の諸問題，第3回日本麻酔学会関西地方会，肺機能に関するシンポジウム（37.11.25）
- 19) C. Nagaishi: The Cavernostomy for Pulmonary Tuberculosis with Film, Department of Surgery, Presbyterian Medical Center, Columbia University, New York, U.S.A. (Nov. 26, 1962)
- 20) C. Nagaishi: The Cavernostomy for Pulmonary Tuberculosis, Department of Surgery University of Chicago, Chicago, U.S.A. (Nov. 27, 1962)
- 21) C. Nagaishi: The Cavernostomy for Pulmonary Tuberculosis, National Jewish Hospital, Denver, U.S.A. (Nov. 27, 1962)
- 22) C. Nagaishi: The Cavernostomy for Pulmonary Tuberculosis, Department of Surgery, University of California Medical Center, San Francisco, U.S.A. (Dec. 4, 1962)

- 23) C. Nagaishi: The Cavernostomy for Pulmonary Tuberculosis, Department of Surgery, Presbyterian Medical Center, Stanford University, San Francisco, U.S.A. (Dec. 5, 1962)
- 24) C. Nagaishi: Combined Treatment of Pulmonary Tuberculosis with Chemotherapy and Irritationtherapy, Tuberculosis and Chest Service, University of California Service, San Francisco, U.S.A. (Dec. 6, 1962)
- 25) C. Nagaishi: Fine Structure of the Lung, Department of Comparative Anatomy, School of Veterinary Medicine, University of California, Davis, U.S.A. (Dec. 7, 1962)
- 26) C. Nagaishi: Electronmicroscopic Observation of Lung, Cardiovascular Research Institute, University of California Medical Center, San Francisco, U.S.A. (Dec. 10, 1962)
- 27) C. Nagaishi: The Cavernostomy for Pulmonary Tuberculosis, Firland Sanatorium and Department of Surgery, University of Washington, Seattle, U.S.A. (Dec. 12, 1962)
- 28) C. Nagaishi: No.1 Electronmicroscopic Observation of the Lung, No.2 Moviefilm of Lung Operation, The British Columbia University, Vancouver, Canada (Dec. 14, 1962)
- 29) C. Nagaishi: No.1 Elektronmicroscopic Observation of the Lung, No.2 Moviefilm of Lung Operation, Victoria Medical Association, Victoria, Canada (Dec. 17, 1962)
- 30) C. Nagaishi: Lung Cancer (Moderator of the Round Table Conference), The 7th International Congress on Diseases of the Chest, New Dehli, India (Feb. 20-24, 1963)
- 31) C. Nagaishi: Chairman, International Committee on Tuberculosis (Surgical Treatment), The 7th International Congress on Diseases of the Chest, New Dehli, India (Feb. 20-24, 1963)
- 32) C. Nagaishi: Electronmicroscopic Studies on Lung Cancer, The 10th Anniversary of Jap. Branch of ACCP. (March 9, 1963)

〔一 般 講 演〕

- 1) 加藤幹夫：肺外科に於ける換気障害，京大結研37年度学術講演会（37.1.21）
- 2) 青木幸平：結核病巣に於ける乾酪化促進因子，第8回結核化学研究グループ総会（37.4.12）
- 3) 金在河，加藤幹夫，大道重夫，加藤康夫，田中歳郎：気管内麻酔の合併症一特に迷走呼吸反応について，第19回近畿外科学会（37.5.26）
- 4) 常盤太助，寺松孝：INH・ツベルクリン併用例の切除肺所見，第5回日本胸部外科学会関西地方会（37.6.15）
- 5) 池田貞雄，岡田慶夫，金在河，大道重夫：胸壁浸潤肺癌における胸壁切除の範囲，第5回日本胸部外科学会関西地方会（37.6.15）
- 6) 岩田明，加藤幹夫，久野健志，市谷建夫：肺結核患者に対する運動負荷試験，第13回日本循環器学会近畿地方会総会（37.6.16）
- 7) 山崎昇，寺松孝，青木幸平：INH・グリチロン併用例の切除肺所見，第25回日本結核病学会近畿地方会（37.6.18）
- 8) 青木幸平，常盤太助，大久保佳子，山崎正保，大井公雄，木下修二郎，寺松孝：肺結核に対する刺激療法の研究，特にグリチロンとINHの併用療法について（第7報）第2回日本結核病学会近畿地方会（37.6.18）
- 9) 大道重夫，池田貞雄，金在河，岡田慶夫：肺胞上皮細胞癌の発生母地に関する一考察第3回肺癌研究会関西支部会（37.8.18）
- 10) 池田貞雄，岡田慶夫，大道重夫，金在河，山本博昭，源河圭一郎，北野司久：肺癌患者血清の寒天内抗原抗体反応について，第3回肺癌研究会総会（37.10.19）
- 11) 大道重夫，岡田慶夫，池田貞雄，金在河：マウスのウレタン肺腺腫の形態学的研究，第3報，経胎盤的ウレタン投与によるマウス胎仔肺の変化，第21回日本癌学会総会（37.10.20）
- 12) 長石忠三，寺松孝他：肺結核に対する気管支遮断術の経験，第15回日本胸部外科学会総会（37.10.30）

- 13) 久野健志, 佐川弥之助, 加藤幹夫, 岩田明, 金在河, 土肥佳郎, 浅井信明, 甲斐隆義, 金泰希: 肺臓外科に於ける閉塞性呼吸障害の意義に関する臨床的検討, 第15回日本胸部外科学会総会 (37.10.30)
- 14) 永井純太, 日下芳郎, 山崎昇, 伊東政敏: 肺結核空洞切開術に合併したアスペルギルス症の検討—特にその治療法を中心として, 第15回日本胸部外科学会総会 (37.10.30)
- 15) 金在河, 岡田慶夫, 大道重夫, 池田貞雄, 長沢直幸, 山下政行, 稲葉宣雄, 木下修二郎: 肺結核に対する両側肺手術の検討—特に重症例を中心として, 第15回日本胸部外科学会総会 (37.10.30)
- 16) 日下芳郎, 永井純太, 山崎昇, 伊東政敏: 交通事故による気管内異物陥入後の肺切除例, 第92回近畿外科学会 (37.11.10)
- 17) 加藤康夫, 寺松孝, 人見滋樹, 木下修二郎, 立石昭三, 永井彰: 胸部外科におけるアミノ酸輸液の問題, 日本輸血学会近畿支部総会 (37.11.17)
- 18) 大道重夫, 池田貞雄, 北野司久, 人見滋樹, 甲斐隆義, 金在河: 肺野に腫瘤状陰影を呈した非結核非癌病巣の4例, 第26回日本結核病学会近畿地方会 (37.12.15)
- 19) 立石昭三, 磯部喜博, 青木幸平, 木下修二郎, 船津武志: 肺結核に対する骨膜外充填術について, 第26回日本結核病学会近畿地方会 (37.12.15)
- 20) 大道重夫, 今日の問題……肺癌, 京大結研38年度学術講演会, 話題提供 (38.1.26)
- 21) 大道重夫, 金在河, 池田貞雄, 稲葉宣雄: 我々の経験した転移性肺腫瘍, 第4回肺癌研究会関西支部会 (38.2.16)
- 22) T. Teramatsu and T. Yamamoto: Combined Treatment of Pulmonary Tuberculosis with chemotherapy and Irritationtherapy, The International Congress on Diseases of the Chest, New Dehli, India (Feb. 20-24, 1963)
- 23) C. Nagaishi: The Cavernostomy for Pulmonary Tuberculosis, The 7th International Congress on Diseases of the Chest (Feb. 20-24, 1963)
- 24) 金在河, 加藤幹夫, 大道重夫, 久野健志, 池田貞雄, 土井佳郎, 加藤康夫, 金泰希, 浅井信明, 甲斐隆義, 人見滋樹, 北野司久: 肺外科における硬膜外麻酔, 第26回結核外科研究会 (38.2.24)

〔著 書〕

- 1) 長石忠三: 組織学, 分担執筆 (肺の部分), 医学書院 (37.9)
- 2) 長石忠三: 胸部外科学, 上巻, 分担執筆, 医学書院 (38.2)

〔雜 誌 発 表〕

- 1) 日下芳郎, 永井純太, 山崎昇: 肺結核手術に合併した肺アスペルギルス症, 3症例の経験, 京大結研紀要, 第10巻, 第1号 (36.9)
- 2) 長石忠三: 慢性肺疾患研究の現状を顧みて, 呼吸と循環, 第10巻, 第2号 (37.2.15)
- 3) 長石忠三: 結核性肺空洞切開術, 京大結研紀要, 第10巻, 第2号 (創立20周年記念) (37.3)
- 4) Y. Okada, Y. Sagawa, S. Ishiko and S. Daido: Electron Microscopic Observation of Chronic Pulmonary Emphysema, Acta Tuberculosea Japonica, Vol. 11, No.2 (March, 1962)
- 5) Y. Okada, S. Ishiko, S. Daido, J. Kin and S. Ikeda: Comparative Morphology of the Lung with Special Reference to the Alveolar Epithelial Cells, 1 Lung of the Amphibia, Acta Tuberculosea Japonica, Vol. 11, No.2 (March, 1962)
- 6) Y. Okada, S. Daido and S. Ishiko: Morphological Studies of Induced Pulmonary Tumors in Mice with Special Reference to their Cytogenesis, Acta Tuberculosea Japonica, Vol. 11, No. 2, March, 1962
- 7) 長石忠三: 結核性肺空洞切開術の手術々式, 外科, 第24巻, 第4号 (37.4)
- 8) 長石忠三: 各種肺疾患に於ける肺電顕像, 胸部疾患, 第6巻, 第4号 (37.4)

- 9) 加藤幹夫, 佐川弥之助, 岩田明, 久野健志, 土肥佳郎, 金在河: 肺外科に於ける換気不全の対策, 肺と心, 第9巻, 第2号 (37.6)
- 10) 佐川弥之助: 肺結核に於ける肺機能低下に関する諸問題—外科方面—結核, 第37巻第7・8号 (37.7.8)
- 11) 寺松孝, 青木幸平, 磯部喜博, 木下修二郎, 永井彰, 常盤太助, 大久保佳子, 東日出夫, 山崎正保, 小林君美, 大井公雄: 化学療法併用下における肺結核に対する刺激療法, 日本胸部臨床, 第21巻, 第8号 (37.8)
- 12) 寺松孝: 化学療法併用下に於ける肺結核刺激療法の再検討, 胸部疾患, 第6巻, 第8号 (37.8)
- 13) 長石忠三: 肺癌と肺結核, 胸部疾患, 第6巻, 第2号 (37.2)
- 14) 寺松孝: フォーラムに参加していただいた方々の御原稿を拝見して, 胸部疾患, 第6巻, 第8号 (37.8)
- 15) 長石忠三: 肺癌の治療経験, 内科宝函, 第9巻, 第7号 (37)
- 16) Y. Okada, S. Ishiko, S. Daido, J. Kin and S. Ikeda: Comparative Morphology of the Lung with Special Reference to the Alveolar Lining Cells. II. Lung of the Reptilia, Acta Tuberc. Jap. (Sep. 1962)
- 17) T. Tokiwa and T. Teramatsu: Preliminary Report of the Combined Treatment of Pulmonary Tuberculosis with Old Tuberculin and INH, Acta Tuberc. Jap. (Sep. 1962)
- 18) 渋谷謙吉, 田中普, 他: 肺吸虫症に対する外科的療法 (特に我々の術式嚢胞切開虫体摘出術について) 京大結研紀要, 第11巻, 第1号 (37.9)
- 19) 平川公義, 村井守, 他: 肺内奇形腫の1例, 京大結研紀要, 第11巻, 第1号 (37.9)
- 20) 寺松孝, 他: 肺腫瘍の正診例と誤診例, 日本臨床, 第21巻, 第1号 (38.1.10)

第 5 部 病 態 生 理 学 部

〔学会発表並びに講演〕

- 1) 辻周介, 大島駿作, 浅田高明, 泉孝英: 結核に対する生体の防衛力に関する研究——細胞性抗結核菌性物質の検索; 第37回日本結核病学会総会 (昭37.4)
- 2) 辻周介, 大島駿作, 泉孝英, 大城盛夫; 細胞性抗結核菌物質に関する研究; 第8回結核化学研究グループ総会 (昭37.4)
- 3) 山本寿, 辻周介, 大城盛夫, 泉孝英; 巨大ブレブの1治験例について; 第25回日本結核病学会近畿地方会 (昭37.6)
- 4) 永野琴子, 大城盛夫, 泉孝英; 特発性気胸75例の成因に関する観察 (同上)
- 5) 水谷昭, 岡田慶夫, 大島駿作, 泉孝英; 感作家兎肺胞洗滌液に於ける細胞学的研究 (同上)
- 6) 大島駿作, 泉孝英; 血清トランスアミナーゼ測定を指標とした輸血後肝炎の観察 (同上)
- 7) 辻周介, 大島駿作, 大城盛夫; ウサギ肺胞滲出細胞抽出液によるツベルクリンアレルギーの受身伝達について; 第12回日本アレルギー学会総会 (昭37.10)
- 8) 辻周介, 大島駿作, 泉孝英; 結核免疫の研究 (続報) 大島・Myrvik の肺臓反応に関する研究 (同上)
- 9) 大島駿作, 泉孝英; 細胞性抗結核菌性物質の研究; 第9回結核化学研究グループ総会 (昭37.10)
- 10) 大島駿作, 藤田豊, 岡田長保, 渡辺熙, 桑田蕃; 健康人尿中の抗結核菌性物質に関する研究; 第35回日本生化学会総会 (昭37.10)
- 11) 辻周介, 大島駿作, 大城盛夫, 泉孝英; 家兎肺胞内単核細胞抽出液によるツベルクリン感受性の受身伝達実験; 第26回日本結核病学会近畿地方会 (昭37.12)
- 12) 福岡謙助, 日置辰一郎; 肺化膿症の診断と予後; 第2回京都市衛生局医学研究会 (昭37.12)
- 13) 辻周介; 人尿中の抗結核菌性ペプチッドの分離; 京大結研学術講演会 (昭38.1)
- 14) 辻周介, 大島駿作, 藤田豊, 岡田長保: 人尿中の抗結核菌性ペプチッドについて, 第42回日本抗生物質学術協議会関西支部会 (昭38.2.23)

〔 雑 誌 発 表 〕

- 1) 熊代朗子；ラッテの各種ミコバクテリアに対する感受性について；京大結研紀要，10巻，1号，38頁（昭36）
- 2) 辻周介；結核の免疫機序（特に細胞性因子について）；京大結研紀要，10巻，2号，16頁（昭37）
- 3) Kimio Yasuhira, Takaaki Asada and Kotoko Nagano; Some Problems on Passive Transfer of Tuberculin Sensitivity; Acta Tuberc. Jap., Vol. 11, No.1, 28 (1961)
- 4) Quentin N. Myrvik, Eva Soto Leake and Shunsaku Oshima; A Study of Macrophages and Epithelioid-Like Cells from Granulomatous (BCG-Induced) Lungs of Rabbits; J. Immunol., Vol. 80, No.5, 745 (1962)
- 5) 日置辰一郎；肺癌の鑑別診断に関する2，3の問題；京都市衛生局医学研究会誌，第2号（印刷中）

第 6 部 病 理 学 部

（ 学 会 発 表 ）

- 1) 水谷昭：類上皮細胞の組織化学的性状，第37回日本結核病学会総会シンポジウム（37.4.10）
- 2) 高松英雄：サルコイドーシス及び結核症の病理，第37回日本結核病学会総会特別講演（37.4.11）
- 3) 水谷昭，岡田慶夫，大島駿作，泉孝英：感作家兎肺胞洗滌液における細胞学的研究，第25回日本結核病学会近畿地方会（37.6.18）
- 4) 高松英雄，大川欣一，西弘，関本信：エステラーゼの組織化学に関する研究，第51回日本病理学会総会（37.6.28）
- 5) 水谷昭，引間啓裕：パラフィン切片における脱水素酵素の組織化学的研究，第51回日本病理学会総会（37.6.28）
- 6) 引間啓裕，水谷昭：遊離細胞における脱水素酵素の組織化学的研究，第3回組織化学会総会（37.9.28）
- 7) 水谷昭，進藤備昌：大動脈に於ける酵素の組織化学的研究，第3回組織化学会総会（37.9.28）
- 8) 高松英雄，北村彬，竹沢正和，池田嵩，富永敏郎：組織化学における新緩衝液について，同上
- 9) 高松英雄，溝口喜久男，伊藤満，池谷淳一：不飽和結合の組織化学に関する研究，第3回組織化学会総会（37.9.28）
- 10) 高松英雄，大川欣一，熊沢清，永井隆男：エステラーゼ類の組織化学，同上
- 11) 西弘，関本信，大津毅，高松英雄：エステラーゼ及びリパーゼの組織化学的特異性に関する研究，特にペーパークロマトグラフによる分析研究，同上
- 12) 岡田彰：シアニン系色素によるメタクロマジヤの研究(Ⅱ)，第3回組織化学会総会（37.9.29）
- 13) 高松英雄，伊藤国彦：甲状腺癌の肺転移について，第4回肺癌研究会関西支部会（38.2.16）

（ 雑 誌 発 表 ）

- 1) 高松英雄：サルコイドーシス及び結核症の病理，結核，37巻，7，8号，354頁（昭和37年）
- 2) 水谷昭：類上皮細胞の組織化学的性状，結核，37巻，7，8号，390頁（昭和37年）
- 3) 水谷昭，岡田慶夫，大島駿作，泉孝英：感作家兎肺胞洗滌液における細胞学的研究，結核，37巻，11号，651頁（昭和37年）
- 4) 水谷昭，引間啓裕，岡田彰：実験的結核病巣における脱水素酵素の組織化学的研究：京結紀要，11巻，1号，31頁（昭和37年）
- 5) 高松英雄，大川欣一，西弘，関本信：エステラーゼの組織化学に関する研究：日病会誌，51巻，2号，443頁（昭和37年）
- 6) 水谷昭，引間啓裕：パラフィン切片における脱水素酵素の組織化学的研究（続報），同上
- 7) 高松英雄，大川欣一，熊沢清，永井隆男：リパーゼ及びエステラーゼ類の組織化学的研究——新法の考案

及び本酵素類の基質特異性に関する——考察：京結紀要，11巻，2号（昭和38年2月）

- 8) K. Hikima & A. Mizutani: Histochemical studies on oxidative enzymes in paraffin sections (II), Acta Tuber. Jap. Vol. 12, No.2.
- 9) A. Mizutani: X-ray microanalysis in biological specimens, Ibid.
- 10) H. Takamatsu & M. Takezawa: Histochemical study on peptidase, Proc. Jap. Histochem. Ass., Vol. 2. 44, (1961)
- 11) A. Mizutani & T. Shindo: Dehydrogenases in paraffin section. Tetrazolium reactions in lipid rich tissues, Proc. Jap. Histochem. Ass., Vol. 2. 44, (1961)
- 12) A. Okada: Studies on the metachromasia with cyanine dyes., Proc. Jap. Histochem. Ass., Vol. 2. 49, (1961)
- 13) K. Ohkawa, T. Tominaga, K. Kumagawa & T. Nagai: Histochemical Studies on lipid metabolism., Proc. Jap. Histochem. Ass., Vol. 2. 72, (1961)
- 14) H. Nishi, M. Sekimoto, T. Ohtsu & H. Takamatsu: Studies on phosphodiesterase., Proc. Jap. Histochem. Ass., Vol. 2. 115, (1961)
- 15) K. Mizoguchi, M. Itoh, F. Yoshino & H. Takamatsu: Histochemical studies on the role of magnesium in phosphatase activities., Proc. Jap. Histochem. Ass., Vol. 2. 132, ()
- 16) K. Hikima, A. Kitamura & T. Ikeda: Histochemical studies of amino groups in frozen sections., Proc. Jap. Histochem. Ass., Vol. 2. 200, (1961)

第 7 部 細菌血清学部

〔学 会 発 表〕

- 1) Norvel M. McClung: Nocardia and Nocardiosis, 第26回日本結核病学会近畿地方会特別講演（昭和37.12）
- 2) 植田三郎: Mycobacteriaceae の病原性，毒力の考察，京大結研昭和37年度学術講演会（昭和38.1）

人 事 異 動

〔第 1 部〕

副手 福井齊・立石恭子：任用を更新する（昭和37.4.1）

助手 寺村文男：アメリカ合衆国へ留学

福田潤：助手に採用（昭和37.8.1）

〔第 2 部〕

講師(非常勤)西岡諄：任期満了（昭和37.3.31）再び採用（昭和37.4.1）

副手 小松幹雄・上田千里・市田新路・田中久勝・浜本武夫・福岡謙助：任用を更新する（昭和37.4.1）

助教授 安平公夫：アメリカ合衆国出張期間延長（昭和37.7.25～38.7.24）

〔第 3 部〕

研修期間終了：姚麗珠（昭和37.3.31）

大井豊：講師(非常勤)に採用（昭和37.4.1）

副手 松島留蔵・川合満・清水明・井本伍平・東向一郎・小沢晃・中西通泰：任用を更新する（昭和37.4.1）

介補 蒲田廻子：任用を更新する（昭和37.4.1）

柴田朝緒：介補に採用（昭和37.4.1）

〔第 4 部〕

教授 長石忠三：沖縄へ出張（昭和37.6.5～37.6.12）

〃 長石忠三：欧米諸国へ出張（昭和37.10.1～37.12.15）

教授 長石忠三：インド国へ出張（昭38.2.16～38.2.28）

助教授 寺松孝：東南アジア諸国へ出張（昭38.2.1～38.3.15）

講師 佐川弥之助：アメリカ合衆国へ出張（昭37.7.1～38.6.30）

助手 岡田慶夫：アメリカ合衆国へ出張（昭37.6.26～38.6.30）

講師(非常勤) 長沢直幸・日下芳郎：任用を更新する（昭37.4.1）

吉田昇・依田篤信：講師(非常勤)に併任する（昭37.4.1）

副手 加藤幹夫・山崎昇・木下修二郎・大道重夫・永井彰・岩田明・土肥佳郎・田中歳郎・池田貞雄：任用を更新する（昭37.4.1）

船津武志・人見滋樹・山本博昭・伊東政敏・甲斐隆義・北野司久・浅井信明：副手に採用（昭37.4.1）

立石昭三・久野健志：副手に併任する（昭37.4.1）

菅原精博：副手に併任する（昭37.5.16）

久野健志：副手併任を解き、再び採用する（昭37.7.16）

山本博昭：副手に併任する（昭37.10.1）

浅井信明：副手に併任する（昭37.10.16）

副手 加藤康夫：退職（昭37.3.31）

〔第5部〕

講師(非常勤) 渡辺熙・並河靖・日置辰一郎：任用を更新する（昭37.4.1）

川田典徳：アメリカ合衆国へ留学

副手：熊代朗子・浅田高明・小林辰雄・儀間義威：任用を更新する（昭37.4.1）

岡田長保：助手に配置換する（昭37.4.16）

技術員 木津啓：文部技官に任官（昭37.10.1）

〔第6部〕

峰下鏡雄：講師(非常勤)に採用する（昭37.4.1）

副手進藤備昌・富永敏郎・北村彬・溝口喜久雄・竹沢正和・永井隆男：任用を更新する（昭37.4.1）

介補 熊沢清・池田嵩：任用を更新する（昭37.4.1）

介補 岡田彰：退職（昭37.3.31）副手に採用（昭37.4.1）

池谷淳一：副手に採用する（昭37.5.16）

研修期間終了：伊藤満（昭37.6.30）

伊藤満：副手に採用する（昭37.8.1）

〔第7部〕

副手 伊藤義昭・大平実・神田桂子：任用を更新する（昭37.4.1）

土井和雄：副手に併任する（昭37.4.1）

副手 中村加代子・岡田博：退職（昭37.3.31）

技術員 山田愼一：文部技官に任官（昭37.10.1）

〔併任〕

医学部 教授 山本俊平：停年退官（昭36.11.13）

〃 教授 青柳安誠：停年退官（昭37.5.23）

〃 教授 福田 正：結核研究所に併任する（昭37.10.1）

〔事務部〕

久米太兵衛：結研事務長に配置換する（昭37.4.1）

事務長竹上治夫：農学部事務長に配置換する（昭37.4.1）

千種顕誠：結研事務長に配置換する（昭38.2.1）

事務長久米太兵衛：経済学部事務長に配置換する（昭38.2.1）

事務員 野元頼子・小林和雄・堀田良恵・野田芳子・村上登美枝：文部事務官に任官（昭37.10.1）

事務員 室恵美子：文部事務官に任官（昭38.2.1）

〔診療部〕

技術員 近藤信子・馬場トキエ・山崎保子・田中松代子・松田比佐子・谷村明子・松本敏枝・星野好江・小林とよ・小林梅野・松室美代子・藤井千鶴子・竹崎浄子・植垣比沙子・上野幸子：文部技官に任官（昭37.10.1）

森田美代子：文部技官に採用（昭37.10.1）

文部技官 上野幸子：辞職（昭38.1.31）

結 核 研 究 所 行 事

◇昭和37年度結核研究所学術講演会 （昭38.1.21）

〔講演〕

- 1) 大城盛夫：ウサギ肺胞滲出細胞抽出液分割によるツベルクリン・アレルギーの受身伝達について
- 2) 水谷 昭：「X線微小分析」の生物学への応用
- 3) 植田三郎：Mycobacteriaceae の病原性、毒力の考察
- 4) 内藤益一：肺結核化学療法に於ける初回治療と再治療の強化
- 5) 加藤幹夫：肺外科における換気障害
- 6) 辻 周介：人尿中の抗結核菌性ペプチッドの分離
- 7) 小林 裕：ツベルクリン反応自然陽転学童と化学予防

〔討議〕

「今日の問題……肺癌」 司会 辻 周介

◇結核研究所総合談話会

93回 37.5.10

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 結核菌耐性検査の実態とその対策 | 吉 原 宣 方(化学療法部) |
| 2 最近の解剖学，特に細胞学の立場から | 解剖学教室 小 川 和 朗 |

94回 37.10.4

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1 エステラーゼの組織化学—特にその特異性について | 大 川 欣 一(病理学部) |
| 2 結核性肺空洞に対する空洞切開術の手術成績 | 寺 松 孝(外科療法部) |

95回 38.3.14

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1 一般感染症に対するカナマイシン及び合成ペニシリンの使用経験 | 福 田 潤(小児特異性研究部) |
| 2 メデアステイノスコピーの紹介 | 長 石 忠 三(外科療法部) |